

大学番号 私立275

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

西南学院大学 外国語学部 外国語学科
注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人西南学院
令和3年5月1日現在

作成担当者

総合企画部企画課

カチョウ シブタ アキノリ
課長 渋谷 昭典

電話番号 092-823-3667

(夜間) 092-841-1316

e-mail pln@seinan-gu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

外国語学部

＜外国語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況（一部省略）	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人西南学院

(2) 大学名

西南学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒814-8511
福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ギャリ バークレー) ギャリ バークレー (2020年4月)		
学長	(ギャリ バークレー) ギャリ バークレー (2018年12月)		
学部長	(イトウ アキヒロ) 伊藤 彰浩 (2020年4月)	(ワダ ミツマサ) 和田 光昌 (2021年4月)	(任期满了に伴う変更) (変更年月日: 2021年4月1日) (3)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
外国語学部 外国語学科 学士（外国語学）	文学関係	4 年	300 人	- 年次 人	1200 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	300 (-) [-]	— (-) [-]	300 (-) [-]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	0.97倍	倍	※1名が入学後ビザを留学ビザに切替えたため、令和2年度の留学生数を修正（2名→3名）
志願者数	2586 (-) [3]	- (-) [-]	1795 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	2564 (-) [3]	- (-) [-]	1783 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	757 (-) [3]	- (-) [-]	879 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	276 (-) [3]	- (-) [-]	302 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.92		1.01										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	276 [3] (-)	- [-] (-)	302 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	※1名が入学後ビザを留学ビザに切替え たため、令和2年度の留学生数を修正 (2名→3名)
2年次	/		276 [3] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
計	276 [3] (-)		578 [3] (-)		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	276 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	578 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{276} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{578} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

外国語	ロシア語	0000	2							兼1	
	スペイン語	0000	2							兼1	
	日本語I	0000	2							兼1	
	日本語II	0000	2							兼1	
	日本語III	0000	2							兼1	
	日本語IV	0000	2							兼1	
	イタリア語初級A	0000	1							兼2	
	イタリア語初級B	0000	1							兼1	
	イタリア語中級A	0000	1							兼1	
	イタリア語中級B	0000	1							兼1	
	小計(79科目)	-	4	150	4						兼82
	合計(175科目)	-	28	344	0	26	7	1			兼115

卒業要件及び履修方法

卒業するのに必要な単位数は124単位で、その履修方法は次の通りである。

(1)専攻科目から必修科目24単位を含めて80単位以上を修得しなければならない。
なお、4年次以上において、演習Ⅱまたは演習Ⅲに代わる科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。

(2)共通科目から16単位以上を修得しなければならない。
ただし、「キリスト教学」からキリスト教学Ⅰ・Ⅱ4単位、「人文科学」、「社会科学」及び「自然科学」からそれぞれ4単位以上を修得しなければならない。

(3)その他、専攻科目・関連科目・共通科目から28単位以上を修得しなければならない。

履修科目の登録の上限(年間)
1年次、2年次、3年次、4年次:42単位

外国語	ラテン語中級	0000	2							
	ロシア語	0000	2							兼1
	スペイン語	0000	2							兼2
	日本語I	0000	2							兼1
	日本語II	0000	2							兼1
	日本語III	0000	2							兼1
	日本語IV	0000	2							兼1
	イタリア語初級A	0000	1							兼3
	イタリア語初級B	0000	1							兼3
	イタリア語中級A	0000	1							兼1
	イタリア語中級B	0000	1							兼1
	タイ語A	0000	1							兼1
	タイ語B	0000	1							兼1
小計(87科目)	-	4	168	0	3					兼86
合計(183科目)	-	28	352	0	28	3	1			兼116

卒業要件及び履修方法

卒業するのに必要な単位数は124単位で、その履修方法は次の通りである。

(1)専攻科目から必修科目24単位を含めて80単位以上を修得しなければならない。
なお、4年次以上において、演習Ⅱまたは演習Ⅲに代わる科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。

(2)共通科目から16単位以上を修得しなければならない。
ただし、「キリスト教学」からキリスト教学Ⅰ・Ⅱ4単位、「人文科学」、「社会科学」及び「自然科学」からそれぞれ4単位以上を修得しなければならない。

(3)その他、専攻科目・関連科目・共通科目から28単位以上を修得しなければならない。

履修科目の登録の上限(年間)
1年次、2年次、3年次、4年次:42単位

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼習
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
目次入	基礎演習	1前	2			16	4	1		
	導入演習	1後	2			12	2			
スキル科目	外国語コミュニケーションA(英語)	1前	4			4	2			兼4
	外国語コミュニケーションB(英語)	1前	4			7	2			兼4
	外国語コミュニケーションA(フランス語)	1前	4			6	1			兼7
	外国語コミュニケーションB(フランス語)	1後	4			4	1			兼9
	英語スピーキングスキル	1後	2	2		2	1			兼6
	英語リーディングスキル	1後	2	2		5	2			
	英語リスニングスキル	1後	2	2		5	2	1		
	英語ライティングスキル	1後	2	2		4	1		1	兼2
	ペーシクイングリッシュ	1前	2	2		1	1	1		
	英語スピーキングスキル&プレゼンテーション	2前	2	2		2	3			
	英語リーディングスキル&クリティカルシンキング	2前	2	2		4				
	英語リスニングスキル&クリティカルシンキング	2後	2	2		2	3			
	英語ライティングスキル&プレゼンテーション	2後	2	2		4				
	アドヴァンスドイングリッシュA	2前	2	2		1				
	アドヴァンスドイングリッシュB	2後	2	2		1				
	コミュニケーション英語I(統合基礎)	2前	2	2		2	3			
	コミュニケーション英語II(統合応用)	2後	2	2		2	3			
	アドヴァンスドリーディング	3前	2	2		2	1			
	アドヴァンスドライティング	3後	2	2		2	1			
	アドヴァンススピーキング	3後	2	2		2	3			
フランス語演習基礎(スピーキング)	1前	2	2		1				兼1	
フランス語演習基礎(リーディング)	1前	2	2		1				兼1	
フランス語演習基礎(リスニング)	1後	2	2		1				兼1	
フランス語演習基礎(ライティング)	1後	2	2		1				兼1	
専攻科目	英語圏文学A	2前	2			1	1			
	英語圏文学B	2後	2			3				
	英語学概論A	2前	2			1	1			
	英語学概論B	2後	2			1	1			
	翻訳演習	2前	2			1				兼1
	翻訳研究	2後	2			2				
	コミュニケーション学入門	2前	2			1				
	クリティカルシンキング入門	2前	2			3				
	英語特別研究	2前	2			3				
	コミュニケーションフランス語基礎A	2前	2			2				
	コミュニケーションフランス語基礎B	2前	2			2				
	英仏対照言語学	2前	2			2				
	世界文学概論	2前	2			3				
	ヨーロッパ文化概論	2後	2			2				
	専攻科目	英語圏文学A(ヨーロッパ)	2前	2			3	1	1	
英語圏文学B(北アメリカ)		2前	2			3				兼1
英語圏文学C(アジア・オセアニア・アフリカ)		3前	2			2				
英語圏文化研究A(ヨーロッパ)		2後	2			3	1	1		
英語圏文化研究B(北アメリカ)		2後	2			3				
英語圏文化研究C(アジア・オセアニア・アフリカ)		3後	2			2				
英語圏歴史研究		3後	2			3				
言語文化論		3後	2			2				
通訳研究I		2前	2							兼1
通訳研究II		2後	2							兼1
英文法A		2前	2			2	1			兼1
英文法B		2後	2			2	1			兼1
英語音声学		2後	2							兼1
英語史		3前	2							兼1
英語学研究A		3前	2			1				
英語学研究B	3後	2			1	1				
異文化理解	3前	2			1					
専攻科目	フランス語特別研究	2前	2			1				
	フランス語文法	2前	2			1				
	フランス語演習応用(スピーキング)	2後	2			1				
	フランス語演習応用(リーディング)	2後	2			1				
	フランス語演習応用(リスニング)	2後	2			1	1			
	フランス語演習応用(ライティング)	2後	2			1				
	フランス語史	2後	2							
	フランス語音声学	3前	2							
	コミュニケーションフランス語応用A	3前	4			1				
	コミュニケーションフランス語応用B	3後	4			1				
	フランス語圏文学研究A	3前	2			1				
	フランス語圏文学研究B	3後	2			1				
	フランス語学研究	3前	2			1				
	フランス語圏社会研究	3前	2			1				
	フランス語圏文化研究	3後	2			1				
フランス語教育研究	3後	2			1					
専攻科目	Communication Studies A	2後	4			1				
	Communication Studies B	2後	4			1	1			
	Communication Studies C	2後	4			1				
	Communication Studies D	2後	4			1	1			
	Global Issues A	3前	2							
	Global Issues B	3前	2			1				
	Global Issues C	3前	2			1				
	Global Issues D	3前	2			1				
	Global Issues E	3前	2			2				
	Global Communication Seminar A	3後	2			1				
	Global Communication Seminar B	3後	2			1	1			
	Global Communication Seminar C	3後	2			1				
	Global Communication Seminar D	3後	2			1				
	演習I	3通	4			20	6	1		
	演習II	4通	4			20	6	1		
卒業論文	4通	4			20	6	1		兼23	
小計(89科目)	—	24	180	0	23	6	1			
関連科目	外国語タイピングスキルI	—	2							兼2
	外国語タイピングスキルII	—	2							兼2
	情報活用基礎	—	2							兼4
	ヨーロッパ・ケルト文化論A	2・3前	2							兼1
	ヨーロッパ・ケルト文化論B	2・3前	2							兼1
	アメリカ・太平洋文化史A	2・3前	2							兼1
	アメリカ・太平洋文化史B	2・3前	2							兼1
	小計(7科目)	—	—	14						兼8
共通科目	キリスト教I	—	2							兼6
	キリスト教II	—	2							兼6
	キリスト教人間学A	3・4前	2							兼2
	キリスト教人間学B	3・4前	2							兼1
	哲学A	—	2							兼3
	哲学B	—	2							兼3
	倫理学A	—	2							兼1
	倫理学B	—	2							兼1
	論理学A	—	2							兼1
	論理学B	—	2							兼1
	日本史A	—	2							兼5
	日本史B	—	2							兼7
	東洋史A	—	2							兼2
	東洋史B	—	2							兼2
	西洋史A	—	2							兼3
	西洋史B	—	2							兼3
	日本文学A	—	2							兼4
	日本文学B	—	2							兼4
	西洋文学A	—	2			1				兼2
	西洋文学B	—	2			1				兼2
中国文学A	—	2							兼1	
中国文学B	—	2							兼1	
音楽史A	—	2							兼1	
音楽史B	—	2							兼1	
心理学I	—	2							兼1	
心理学II	—	2							兼1	

Table with columns for subject categories (3, 4, 6), subject names, and credit values. Includes sub-totals for 2 and 4 credit subjects, and a total of 176 subjects.

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当割変更により、「英語スピーキングスキル」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・ 担当割変更及び科目担当者の昇格により、「英語リーディングスキル」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当割変更により、「英語リスニングスキル」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 担当割変更及び科目担当者の昇格により、「英語ライティングスキル」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」、「准教授4」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当割変更により、「ベーシックイングリッシュ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「英語スピーキングスキル&プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「英語リスニングスキル&クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「コミュニケーション英語I(総合基礎)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「コミュニケーション英語II(総合応用)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「アドヴァンストリーディング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「アドヴァンストライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「アドヴァンストスピーキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「言語文化論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「Global Issues」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「演習I」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「演習II」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・ 科目担当者の昇格により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・ 上記の変更により、専任教員、専任教員等の配置の小計を「教授22」から「教授23」、「准教授7」から「准教授6」、「兼任・兼任25」から「兼任・兼任28」に変更。
- ・ 担当割変更により、「キリスト教入門B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当割変更により、「日本史学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 担当割変更により、「日本史学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 担当者追加により、「東洋史学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者追加により、「東洋史学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当割変更により、「西洋文学A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者変更により、「西洋文学B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 担当割変更により、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当割変更により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当割変更により、「社会学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当割変更により、「社会学II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者追加により、「同和問題論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者追加により、「スポーツ理論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当者追加により、「スポーツ実習I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 担当者追加により、「スポーツ実習II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 担当者追加により、「スポーツ実習III」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当者追加により、「スポーツ実習IV」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者追加により、「ドイツ語中級」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者追加により、「韓国語中級」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 学則改正により、「ラテン語中級」を追加
- ・ 隔年開講科目のため、「日本語II」の「兼任・兼任」欄は空欄としている。詳細は2(3)-(6)に記載。
- ・ 担当者追加により、「イタリア語初級A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当者追加により、「イタリア語初級B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。

- ・学則改正により、「タイ語A」を追加
- ・学則改正により、「タイ語B」を追加
- ・上記の変更により、共通科目、科目数合計を「79科目」から「82科目」に変更。選択科目単位数の小計を「150」から「154」、専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、兼任・兼任82」から「兼任・兼任96」に変更。
- ・上記の変更により、科目数の合計を「175」から「178」、選択科目単位数の合計を「344」から「348」、専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」、「准教授7」から「准教授6」「兼任・兼任115」から「兼任・兼任132」に変更。

【令和3年度】

- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「基礎演習」の、教員等の配置を「教授12准教授4講師1」から「教授18准教授2講師0」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「導入演習」の、教員等の配置を「教授18准教授7講師1」から「教授13准教授1講師0」に変更。
- ・担当割変更により、「外国語コミュニケーションA(英語)」の、教員等の配置を「教授3兼13」から「教授6准教授1講師1兼9」に変更。
- ・担当割変更により、「外国語コミュニケーションB(英語)」の、教員等の配置を「教授2兼13」から「教授7准教授2講師1兼6」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」の、教員等の配置を「教授6准教授1兼4」から「教授7准教授0兼6」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」の、教員等の配置を「教授5准教授1兼4」から「教授5准教授0兼9」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「英語スピーキングスキル」の、教員等の配置を「教授3」から「教授4講師1兼4」に変更。
- ・担当割変更により、「英語リーディングスキル」の、教員等の配置を「教授3准教授3」から「教授5准教授2講師1兼1」に変更。
- ・担当割変更により、「英語リスニングスキル」の、教員等の配置を「教授4准教授1」から「教授3准教授0講師1兼5」に変更。
- ・担当割変更により、「英語ライティングスキル」の、教員等の配置を「教授2准教授4」から「教授2准教授1兼7」に変更。
- ・担当割変更により、「ベントウイングリッシュ」の、教員等の配置を「教授1講師1」から「教授2講師0」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更、及び担当割変更、科目担当者の昇格により、「英語スピーキングスキル&プレゼンテーション」の、配当年次を「2前」から「2前・後」に、教員等の配置を「教授1准教授4」から「教授3准教授1兼2」に変更。
- ・担当割変更により、「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」の、教員等の配置を「教授4」から「教授1兼5」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「英語リスニングスキル&クリティカルシンキング」の、教員等の配置を「教授1准教授4」から「教授3准教授1兼1」に変更。
- ・担当割変更により、「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」の、教員等の配置を「教授4」から「教授0兼4」に変更。
- ・担当割変更により、「アドヴァンストイングリッシュA」の、教員等の配置を「教授1」から「教授0准教授1講師1兼2」に変更。
- ・担当割変更により、「アドヴァンストイングリッシュB」の、教員等の配置を「教授1」から「教授0准教授1講師1兼1」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「コミュニケーション英語1(総合基礎)」の、教員等の配置を「教授1准教授4」から「教授4准教授1兼1」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「コミュニケーション英語II(総合応用)」の、教員等の配置を「教授1准教授4」から「教授4准教授1」に変更。
- ・担当割変更により、「フランス語演習基礎(リスニング)」の、教員等の配置を「教授1兼1」から「教授2兼0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「英語圏文学史A」の、教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授2准教授0」に変更。
- ・担当割変更により、「英語学概論A」の、教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・担当割変更により、「英語学概論B」の、教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・担当割変更により、「翻訳演習」の、教員等の配置を「教授1兼1」から「教授1准教授1兼0」に変更。
- ・担当割変更により、「翻訳研究」の、教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更、及び担当割変更により、「クリティカルシンキング入門」の、配当年次「2前」から「2前・後」に、教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当割変更により、「コミュニケーションフランス語基礎B」の、教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更、及び担当割変更により、「英仏対照言語学」の、配当年次を「2前」から「2後」に、教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
- ・担当割変更により、「世界文学概論」の、教員等の配置を「教授3講師1」から「教授6准教授1講師0」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「ヨーロッパ文化概論」の、教員等の配置を「教授2講師1」から「教授3准教授2講師0」に変更。
- ・担当割変更により、「英語圏文学A(ヨーロッパ)」の、教員等の配置を「教授3准教授1講師1」から「教授2准教授0講師0」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更、及び担当割変更により、「英語圏文学B(北アメリカ)」の、配当年次を「2前」から「2前・後」に、教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更、及び担当割変更により、「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」の、配当年次を「2後」から「2前」に、教員等の配置を「教授3准教授1講師1」から「教授1准教授0講師0」に変更。
- ・担当割変更により、「英語圏文化研究B(北アメリカ)」の、教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
- ・担当割変更により、「英文法A」の、教員等の配置を「教授2准教授1兼1」から「教授2准教授0兼0」に変更。
- ・担当割変更により、「英文法B」の、教員等の配置を「教授2准教授1兼1」から「教授2准教授0兼0」に変更。
- ・担当割変更により、「英語音声学」の、教員等の配置を「兼1」から「教授1兼0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「フランス語特別研究」の、教員等の配置を「准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「フランス語文法」の、教員等の配置を「准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「フランス語演習応用(リスニング)」の、教員等の配置を「准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更により、「Communication Studies A」の、配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当割変更により、「Communication Studies B」の、教員等の配置を「准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
- ・時間割編成上の配当別変更により、「Communication Studies C」の、配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当割変更により、「Communication Studies D」の、教員等の配置を「教授1」から「教授1講師1」に変更。
- ・上記の変更により、「専攻科目」の教員等の配置を「教授22准教授7講師1兼25」から「教授28准教授3講師1兼24」に変更。
- ・担当割変更により、「哲学A」の、教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当割変更により、「哲学B」の、教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当割変更により、「日本史学A」の、教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当割変更により、「日本史学B」の、教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当割変更により、「東洋史学A」の、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当割変更により、「東洋史学B」の、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当割変更により、「西洋文学B」の、教員等の配置を「教授2兼1」から「教授1兼1」に変更。
- ・学則改正により、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を廃止。
- ・学則改正により、「日本国憲法1」を新設。教員等の配置を「兼2」とする。
- ・学則改正により、「日本国憲法II」を新設。教員等の配置を「兼2」とする。
- ・学則改正により、「法学I」を新設。教員等の配置を「兼1」とする。
- ・学則改正により、「法学II」を新設。教員等の配置を「兼1」とする。
- ・学則改正により、「経済学」を「経済学I」「経済学II」に名称変更、分割。教員等の配置をいずれも「兼」とする。
- ・担当割変更により、「社会学」の、教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・担当割変更により、「社会学II」の、教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・学則改正により、「地理学概論」を「地理学概論I」に名称変更、分割。担当予定者辞退により閉講。
- ・担当予定者辞退により、「環境地理II」を閉講。
- ・担当予定者辞退により、「環境地理I」を閉講。
- ・担当割変更により、「自然科学概論I」の、教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当割変更により、「自然科学概論II」の、教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当割変更により、「スポーツ理論I」の、教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当割変更により、「スポーツ実習I」の、教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
- ・担当割変更により、「スポーツ実習II」の、教員等の配置を「兼2」から「兼10」に変更。
- ・担当割変更により、「スポーツ実習III」の、教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当割変更により、「スポーツ実習IV」の、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当割変更により、「中国語初級I」の、教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・担当割変更により、「中国語初級II」の、教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・担当割変更により、「韓国語初級I」の、教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・担当割変更により、「韓国語中級」の、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・受講者僅少により「ラテン語中級」を閉講。
- ・専任教員の新規採用により、「スペイン語」の、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・隔年開講科目のため、「日本語I」の「兼任・兼任」欄は空欄としている。
- ・隔年開講科目のため、「日本語III」の「兼任・兼任」欄は空欄としている。
- ・担当割変更により、「イタリア語初級A」の、教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当割変更により、「イタリア語初級B」の、教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・学則改正により、「タイ語A」を追加。教員等の配置を「兼1」とする。
- ・学則改正により、「タイ語B」を追加。教員等の配置を「兼1」とする。
- ・上記の変更により、共通科目科目数小計を「79科目」から「87科目」に変更。選択科目単位数の小計を「150」から「158」、教員等の配置を「教授4兼82」から「教授3兼85」に変更。
- ・上記の変更により、科目数の合計を「175」から「183」、選択科目単位数の合計を「344」から「352」、教員等の配置を「教授26准教授7講師1兼115」から「教授28准教授3講師1兼116」に変更。

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度未開講であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	166 科目	0 科目	175 科目	9 科目 [0]	174 科目 [8]	0 科目 [0]	183 科目 [8]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を

記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本語I	2	1	一般	選択	希望者が少数のため隔年開講
2	日本語III	2	1	一般	選択	希望者が少数のため隔年開講
3	環境地理I	2	1	一般	選択	担当教員が急遽辞退した為。他の科目で卒業要件充足可。
4	環境地理II	2	1	一般	選択	担当教員が急遽辞退した為。他の科目で卒業要件充足可。
5	地理学概論I	2	1	一般	選択	担当教員が急遽辞退した為。他の科目で卒業要件充足可。
6	地理学概論II	2	1	一般	選択	担当教員が急遽辞退した為。他の科目で卒業要件充足可。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	法学（日本国憲法2単位を含む。）	4	1・2・3・4通	一般	選択	「日本国憲法I」「日本国憲法II」「法学I」「法学II」を新設したため。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(3) 未開講科目</p> <p>○番号1・2「日本語I」及び「日本語III」 「日本語I～IV」の中から履修できるため、特に支障はない。また、本科目は日本語を母語としない学生対象の科目であり、履修登録時には教務課より個別に案内している。</p> <p>○番号3・4「環境地理I」及び「環境地理II」 必修科目ではなく、他の科目で卒業要件充足が可能なため特に支障はない。学生には時間割公開時、及び履修登録期間に配布資料や学生用WEBサイト（ポータル）にて周知。</p> <p>○番号5・6「地理学概論I」及び「地理学概論II」 必修科目ではなく、他の科目で卒業要件充足が可能なため特に支障はない。学生には時間割公開時、及び履修登録期間に配布資料やポータル上にて周知。</p> <p>(4) 廃止科目</p> <p>○番号1「法学（日本国憲法2単位を含む。）」 学則改正に伴い、当該科目に代わり「日本国憲法I」「日本国憲法II」「法学I」「法学II」を新設したため。2021年度新入生より本学則改正を適用し、新入生の学生便覧には新設科目のみを記載している。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{175} = \boxed{4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地用途変更 (3)		
	校舎敷地	81,436.68㎡	0㎡	0㎡	81,436.68㎡			
	運動場用地	142,550.27㎡	0㎡	0㎡	142,550.27㎡			
	小 計	223,986.95㎡	0㎡	0㎡	223,986.95㎡			
	そ の 他	32,251.36㎡ 32,007.38㎡	0㎡	0㎡	32,251.36㎡ 32,007.38㎡			
合 計	256,238.31㎡ 256,994.33㎡	0㎡	0㎡	256,238.31㎡ 256,994.33㎡				
(2) 校 舎	専 用	75,487.57㎡ 75,487.47㎡	0㎡	0㎡	75,487.57㎡ 75,487.47㎡	訂正(錯誤)(2)		
	(75,487.57㎡) (- 75,487.47㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(75,487.57㎡) (- 75,487.47㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	104室 106室	31室 37室	29室	9室 8室 (補助職員 8人)	12室 (補助職員 2人)	大学全体 教室改修等による数値変更(2)	
	新設学部等の名称				室 数		実績に基づく数値変更 (3) 実績に基づく数値変更 (2)	
(4) 専任教員研究室	外国語学部 外国語学科			34 32 35	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナルの実績に基づく数値変更。(3) 【機械・器具】【標本】実績とそれに基づく想定点数変更等による数値変更(3) 開設時の予測値を、令和2年5月1日現在の数値へ修正したため(2) 【機械・器具】【標本】実績とそれに基づく想定点数変更等による数値変更(2)
	外国語学部	1,219,912 [518,208] (1,181,067 [456,576]) (1,162,959 [449,872]) (1,178,116 [478,137])	13,942 [4,691] (13,764 [4,672]) (13,752 [4,669]) (13,783 [4,670])	21,130 [20,876] (18,646 [18,587]) (18,681 [18,623]) (19,078 [18,941])	37,456 (35,475) (35,302) (35,887)	3,074 (2,413) (2,740) (2,186) (2,729) (2,256)	98 (80) 103 (77) 102 (69)	
	計	1,219,912 [518,208] (1,181,067 [456,576]) (1,162,959 [449,872]) (1,178,116 [478,137])	13,942 [4,691] (13,764 [4,672]) (13,752 [4,669]) (13,783 [4,670])	21,130 [20,876] (18,646 [18,587]) (18,681 [18,623]) (19,078 [18,941])	37,456 (35,475) (35,302) (35,887)	3,074 (2,413) (2,740) (2,186) (2,729) (2,256)	98 (80) 103 (77) 102 (69)	
	計	1,219,912 [518,208] (1,181,067 [456,576]) (1,162,959 [449,872]) (1,178,116 [478,137])	13,942 [4,691] (13,764 [4,672]) (13,752 [4,669]) (13,783 [4,670])	21,130 [20,876] (18,646 [18,587]) (18,681 [18,623]) (19,078 [18,941])	37,456 (35,475) (35,302) (35,887)	3,074 (2,413) (2,740) (2,186) (2,729) (2,256)	98 (80) 103 (77) 102 (69)	
(6) 図 書 館	面 積	閲覧席座数		取 納 可 能 冊 数				
	11,715.21㎡	1179		180万冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	7,676.19㎡	テニスコート 9面	サッカー場 1面					
		アメリカンフットボール場 1面	ラグビー場 1面					
		陸上競技場 1面	アーチェリー場 1面					
		野球場 1面	ソフトボール場兼多目的運動場 1面					
		弓道場 1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	【設備購入費】実績とそれに基づく想定費用変更等による数値変更(3) 届出学科(外国語学部外国語学科)全体 ※図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト)含む 図書購入費:図書費及びデータベース価格の変更のため(2) 【設備購入費】実績とそれに基づく想定費用変更等による数値変更(2)
	教員1人当り研究費等	612千円	612千円	図書購入費	40,100千円 24,127千円	40,495千円 24,188千円	40,550千円 41,607千円 24,253千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	107,050千円 110,178千円	34,813千円 36,525千円 12,703千円	11,768千円 11,781千円 9,923千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,160千円	960千円	960千円	960千円	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要	入学検定料、私立大学等経常費補助金、寄附金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	西南学院大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
神学部 神学科	4	10	-	40	学士(神学)	1.02	1.00		昭和41	福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号
文学部 英文学科	4	-	-	-	学士(英文学)	-	-		昭和29	同上
外国語学科	4	-	-	-	学士(英語) 学士(フランス語)	-	-		昭和40	同上
外国語学部 外国語学科	4	300	-	1200	学士(外国語)	0.96	1.00		令和2	同上
商学部 商学科	4	180	-	720	学士(商学)	1.07	0.95		昭和29	同上
経営学科	4	180	-	720	学士(経営学)	1.01	1.02		昭和41	同上
経済学部 経済学科	4	240	-	960	学士(経済学)	1.01	0.98		昭和39	同上
国際経済学科	4	120	-	480	学士(経済学)	0.97	0.95		平成17	同上
法学部 法律学科	4	315	-	1260	学士(法学)	1.00	1.02		昭和42	同上
国際関係法学科	4	95	-	380	学士(法学)	0.99	1.01		平成4	同上
人間科学部 児童教育学科	4	100	-	400	学士(教育学)	0.96	1.01		平成17	同上
社会福祉学科	4	115	-	450	学士(社会福祉)	0.98	1.00		平成17	同上
心理学科	4	120	-	480	学士(心理学)	1.03	1.01		平成24	同上
国際文化学部 国際文化学科	4	180	-	720	学士(国際文化)	1.03	1.00		平成18	同上
大学院										
法学研究科法律学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士(法学)	0.20	0.10		昭和46	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(法学)	0.22	0.66		昭和49	同上
経営学研究科経営学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士(経営学)	0.75	0.80		昭和47	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.33	0.00		昭和49	同上
文学研究科英文学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士(文学)	0.45	0.50		昭和51	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(文学)	0.11	0.00		昭和55	同上
文学研究科フランス文学専攻										
博士前期課程	2	5	-	10	修士(文学)	0.40	0.40		昭和51	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(文学)	0.11	0.00		昭和55	同上
経済学研究科経済学専攻										
博士前期課程	2	7	-	14	修士(経済学)	0.21	0.28		昭和56	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.00	0.00		平成21	同上
神学研究科神学専攻										
博士前期課程	2	7	-	14	修士(神学)	0.21	0.00		平成17	同上
博士後期課程	3	2	-	6	博士(神学)	0.00	0.00		平成19	同上
人間科学研究科人間科学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士(人間科)	0.35	0.50		平成17	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(人間科)	0.33	0.66		平成19	同上
人間科学研究科臨床心理学専攻										
修士課程	2	8	-	16	修士(臨床心理学)	0.50	0.50		平成28	同上
国際文化研究科国際文化専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士(国際文化)	0.40	0.60		平成18	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士(国際文化)	0.55	0.66		平成18	同上
法務研究科法曹養成専攻										
専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士(専門職)	-	-		平成16	同上
大学全体	-	2055	-	8033	-	-	-	-	-	-

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

以下、外国語学部専任教員

- ・ [一谷教授] 担当割変更のため、担当科目に「外国語コミュニケーションB(英語)」と「ベーシックイングリッシュ」を追加。
 - ・ [金子教授] 後期国内研究で不在のため、「基礎演習」「導入演習」を担当しない。
 - ・ [河原教授] 担当割変更のため、「導入演習」「西洋文学B」を担当しない。
 - ・ [北垣教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。
 - ・ [中西教授] 令和2年4月就任。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を担当
 - ・ [藤野教授] 担当割変更のため、「基礎演習」「導入演習」「西洋文学A」を担当しない。「西洋文学B」を追加。
 - ・ [藤本教授] 担当割変更のため、「英語リスニングスキル」を追加。「ベーシックイングリッシュ」を担当しない。
 - ・ [三宅教授] 担当割変更のため、「英語リーディングスキル」を追加。
 - ・ [宮本(林田)教授] 担当割変更のため、「英語リーディングスキル」を追加。
 - ・ [和田教授] 担当割変更のため、「西洋文学B」を担当しない。

 - ・ [清宮教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」と「英語リスニングスキル」を追加。
 - ・ [チェイス教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」と「英語リーディングスキル」を担当しない。
 - ・ [オルソン教授] 担当割変更のため、「導入演習」と「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リスニングスキル」を担当しない。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を追加。
 - ・ [オスターハウス教授] 担当割変更のため、「導入演習」を担当しない。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を追加。
 - ・ [フラウン教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を追加。「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [伊藤教授] 担当割変更のため、「基礎演習」を追加。
 - ・ [加藤教授] 前期国内研究で不在であり、担当割が変更になったため「導入演習」を担当しない。
 - ・ [宮原教授] 担当割変更のため、「基礎演習」を追加。
 - ・ [トーマティ教授] 教授に昇格。担当割変更のため、「基礎演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。「導入演習」を担当しない
 - ・ [杉山准教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。
 - ・ [樋口准教授] 担当割変更のため、「導入演習」「英語リーディングスキル」を担当しない。「ベーシックイングリッシュ」を追加。
 - ・ [鳥越准教授] 産後休暇のため、「基礎演習」「導入演習」「英語ライティングスキル」を担当しない。
 - ・ [山元准教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を追加。「英語リーディングスキル」を担当しない。
 - ・ [ホドソン准教授] 担当割変更のため、「基礎演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。「導入演習」「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [前田(村岡)准教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を追加。「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [カシヤ准教授] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル」「英語ライティングスキル」を担当
 - ・ [石田講師] 担当割変更のため、「導入演習」を担当しない。「英語リスニングスキル」を追加。
- 以下、兼任教員
- ・ [プレスラー助教] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当。
 - ・ [ビュー教授] 令和2年4月就任。「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [今井教授] 担当割変更により「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当しない
 - ・ [津田教授] 辞任のため「キリスト教学I」「キリスト教学II」「ラテン語初級I」を担当しない。

 - ・ [宮平教授] 担当割変更により、「キリスト教人間学B」を担当しない。
 - ・ [マンク教授] 津田教授辞任に伴い、「キリスト教学I」「キリスト教学II」を追加。「キリスト教人間学B」を担当しない。就任日を「令和2年4月」に変更。
 - ・ [山田教授] 担当割変更のため、「イタリア語初級A」を担当しない。
 - ・ [塩野(和)教授] 令和4年4月就任予定。「キリスト教人間学A」を担当。
 - ・ [森田教授] 辞任のため「哲学A」「哲学B」を担当しない。
 - ・ [藤田准教授] 准教授に昇格。
 - ・ [加藤准教授] 担当割変更のため、「経済学」を担当しない。
 - ・ [安楽教授] 担当割変更のため、「情報数学I」を担当しない。
 - ・ [塩野(正)教授] 担当割変更のため、「物理学入門I」を担当しない。
 - ・ [山根教授] 教授に昇格。
 - ・ [山崎教授] 担当割変更のため、「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」「スポーツ衛生学」を追加。
 - ・ [中馬教授] 担当割変更のため、「スポーツ理論I」「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を追加。
 - ・ [田原准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を担当。
 - ・ [瀬木准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」を担当。

 - ・ [高野准教授] 担当割変更のため、「スポーツ実習IV」を担当しない。
 - ・ [栗山助教] 令和2年4月就任。「中国語初級I」を担当。
 - ・ [単助教] 令和4年4月就任予定。「中国語上級」を担当。
 - ・ [新谷教授] 担当割変更のため、「中国語初級II」を担当しない。
 - ・ [下園助教] 令和2年4月就任。「ラテン語初級I」を担当。
- 以下、兼任教員
- ・ [ウォレン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [オキーフ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [カーター講師] 担当割変更のため、「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [ケイトン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [シェリフ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ファネル講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [フクハラ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ペイトン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [ベヴァン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。

 - ・ [マキニス講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を担当しない。
 - ・ [マクドナルド講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ムラカミ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ユエー講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [山本講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を追加。
 - ・ [辻部講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」を追加。
 - ・ [日野講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」を追加。
 - ・ [マクドナルド講師] 認可時に重複して記載があったため、ひとつに統合。本項目は使用しない。
 - ・ [濱講師] 担当割変更のため、「西洋文学A」を追加。就任日を「令和2年4月」に変更。
 - ・ [クリスチャンズ講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [ソールズ講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [パークレー講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を担当。
 - ・ [アサー講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を担当。

- ・[安藤講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(フランス語)」「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[村上講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[麻生講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[小柳講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[乙武講師] 担当変更のため、「情報活用基礎」を担当しない。
- ・[佐藤(亮)講師] 令和2年4月就任。「情報活用基礎」を担当。
- ・[平島講師] 担当変更のため、「イタリア語初級A」「イタリア語初級B」「ドイツ語中級」を追加。
- ・[梶原講師] 令和2年4月就任。「キリスト教1」「キリスト教II」を担当。
- ・[田代講師] 令和4年4月就任予定。「キリスト教人間学(B)」を担当。
- ・[伊原本講師] 担当変更のため、「キリスト教人間学A」を担当しない。
- ・[柴田講師] 令和2年4月就任。「哲学A」「哲学B」を担当。
- ・[伊東講師] 令和2年4月に就任しないため、「日本史学A」を担当しない。
- ・[八嶋講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」を担当。
- ・[赤司講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」「日本史学B」を担当。
- ・[川畑講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
- ・[松浦講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
- ・[遠山講師] 令和2年4月に就任しないため、「音楽史A」「音楽史B」を担当しない。
- ・[堀講師] 令和2年4月就任。「音楽史A」「音楽史B」を担当。
- ・[有古講師] 辞任のため、「心理学I」を担当しない。
- ・[馬場講師] 令和2年4月就任。「心理学I」を担当。
- ・[堀口講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[城下講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[吉岡講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[高野講師] 担当変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
- ・[森講師] 担当変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
- ・[本田講師] 令和3年4月就任予定。「同和問題論」を担当。
- ・[城戸講師] 担当変更のため、「情報数学I」を追加。
- ・[小隈講師] 令和2年4月就任。「物理学入門I」を担当。
- ・[町田(真)講師] 令和2年4月に就任しないため、「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当しない。
- ・[三浦講師] 令和2年4月就任。「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当。
- ・[池松講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習III」を担当。
- ・[東講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を担当。
- ・[原講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
- ・[黒田講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
- ・[町田(由)講師] 担当変更のため、「スポーツ実習III」を追加。
- ・[王(貞)講師] 令和2年4月に就任しないため、「中国語初級I」を担当しない。
- ・[陳講師] 担当変更のため、「東洋史学A」「東洋史学B」を追加。
- ・[王(晨)講師] 令和2年4月就任。「中国語初級II」を担当。
- ・[白岩講師] 担当変更のため、「韓国語初級II」を担当しない。
- ・[李(廷)講師] 担当変更のため、「韓国語初級I」を担当しない。
- ・[李(昭)講師] 令和2年4月就任。「韓国語初級I」を担当。
- ・[鄭(修)講師] 令和2年4月就任。「韓国語初級II」を担当。
- ・[金(恩)講師] 令和3年4月就任予定。「韓国語中級」を担当。
- ・[堺講師] 令和3年4月就任予定。「ラテン語中級」を担当。
- ・[福盛講師] 「日本語II」が未開講のため担当しない。
- ・[佐藤(友)講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級A」を担当。
- ・[井手講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級B」を担当。
- ・[富松講師] 令和2年4月就任。「タイ語A」「タイ語B」を担当。

【令和3年度】

- ・全教員の年齢を変更。

以下、外国語学部専任教員に関する変更。

- ・[金子教授] 担当変更のため、「基礎演習」「導入演習」「世界文学概論」「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」を担当しない。「英語リスニングスキル」「西洋文学A」を追加。
- ・[河原教授] 担当変更のため、「導入演習」「英語リスニングスキル」「翻訳演習」「英語特別研究」「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」「西洋文学B」を担当しない。「世界文学概論」を追加。
- ・[北垣教授] 担当変更のため、「ヨーロッパ文化概論」を追加。
- ・[中西教授] 令和2年4月就任。「基礎演習」「導入演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リスニングスキル」「ベーシックイングリッシュ」「英語音声学」「英語特別研究」を担当。
- ・[藤野教授] 担当変更のため、「基礎演習」「導入演習」「英語リーディングスキル」「英語圏文化研究B(北アメリカ)」「西洋文学A」を担当しない。
- ・[世界文学概論]「西洋文学B」を追加。
- ・[藤本教授] 担当変更のため、「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を追加。「ベーシックイングリッシュ」「英仏対照言語学」を担当しない。
- ・[真下教授] 担当変更のため、「世界文学概論」を追加。
- ・[三宅教授] 担当変更のため、「英語リスニングスキル」「英語特別研究」「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」を担当しない。
- ・[宮本(林田)教授] 担当変更のため、「クリティカルシンキング入門」「英語圏文化研究B(北アメリカ)」を担当しない。
- ・[和田教授] 令和3年度より学部長に就任。担当変更のため、「西洋文学B」を担当しない。
- ・[清宮教授] 担当変更のため、「アドヴァンストイングリッシュB」「クリティカルシンキング入門」を担当しない。「英語特別研究」を追加。
- ・[チェイス教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」「アドヴァンストイングリッシュA」を担当しない。「コミュニケーション英語I(統合基礎)」「コミュニケーション英語II(統合応用)」を追加。
- ・[オルソン教授] 担当変更のため、「導入演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」を担当しない。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。
- ・[オスターハウス教授] 担当変更のため、「導入演習」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」「英語圏文化研究B(北アメリカ)」を担当しない。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル」を追加。
- ・[ブラウン教授] 担当変更のため、「英語リスニングスキル」「英語ライティングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」を担当しない。「外国語コミュニケーションA(英語)」を追加。

[トリュベール教授] 担当割変更のため、「コミュニケーションフランス語基礎B」を担当しない。
 [アズラ教授] 担当割変更のため、「導入演習」「コミュニケーションフランス語基礎A」を担当しない。
 [シュヴァリエ教授] 担当割変更のため、「コミュニケーションフランス語基礎A」を追加。
 [伊藤教授] 令和2年度末にて学部長を退任。担当割変更のため、「英語特別研究」「英仏対照言語学」を担当しない。「基礎演習」を追加。
 [加藤(洋)教授] 担当割変更のため、「導入演習」を担当しない。「基礎演習」「世界文学概論」を追加。
 [宮原教授] 担当割変更のため、「導入演習」を担当しない。
 [ドーハティ教授] 令和2年度教授に昇格。担当割変更のため、「導入演習」「英語ライティングスキル」を担当しない。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。
 [杉山教授] 令和3年度教授に昇格。担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。「フランス語演習基礎(リスニング)」を追加。
 [山田(智)教授] 令和3年4月 外国語学部新規採用教員。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」「ベーシックイングリッシュ」「クリティカルシンキング入門」「英語特別研究」を担当。
 [横溝教授] 令和3年4月 外国語学部新規採用教員。「基礎演習」「導入演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」「Communication StudiesB」を担当。
 [樋口准教授] 担当割変更のため、「導入演習」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を担当しない。
 [鳥越准教授] 令和3年度退職。
 [山元准教授] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。
 [ホドソン教授] 令和3年度教授に昇格。担当割変更のため、「導入演習」「英語ライティングスキル」「英語圏文学A(ヨーロッパ)」「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」を担当しない。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」を追加。
 [前田(村岡)准教授] 令和3年度産前産後休暇のため、授業を担当しない。2022年度以降の開講科目は計画通り担当の予定。
 [カンヤ准教授] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リーディングスキル」「英語ライティングスキル」「アドヴァンストイナグリッシュA」「アドヴァンストイナグリッシュB」「翻訳演習」「世界文学概論」「ヨーロッパ文化概論」を担当。
 [石田准教授] 令和3年度准教授に昇格。担当割変更のため、「導入演習」「ベーシックイングリッシュ」「世界文学概論」「英語圏文学A(ヨーロッパ)」「英語圏文化研究A(ヨーロッパ)」を担当しない。
 [K. パークレー講師] 令和3年4月 外国語学部新規採用教員。「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」「アドヴァンストイナグリッシュA」「アドヴァンストイナグリッシュB」「Communication Studies D」

以下、兼任教員に関する変更。

[今井教授] 担当割変更により、「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当しない。
 [津田教授] 令和元年3月退職のため、「キリスト教学I」「キリスト教学II」「ラテン語初級I」を担当しない。
 [宮平教授] 担当割変更により、「キリスト教人間学B」を担当しない。
 [ロドリゲス准教授] 担当割変更により、「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当しない。
 [マンケ教授] 担当割変更により、「キリスト教人間学B」「ドイツ語上級」を担当しない。「キリスト教学I」「キリスト教学II」を追加。就任日を「令和2年4月」に変更。
 [山田(順)教授] 担当割変更のため、「イタリア語初級A」を担当しない。
 [ロドリゲス講師] 担当割変更のため、「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当しない。
 [西脇教授] 令和3年4月就任。「キリスト教学I」「キリスト教学II」「キリスト教人間学B」を担当。
 [森田教授] 令和元年3月退職のため、「哲学A」「哲学B」を担当しない。
 [柿木教授] 令和3年4月就任。「哲学A」「哲学B」を担当。
 [藤田准教授] 令和2年度准教授に昇格。
 [赤尾准教授] 令和3年3月退職のため、「西洋文学A」「西洋文学B」「ドイツ語中級」を担当しない。
 [西村教授] 令和3年4月就任。「日本文学A」「日本文学B」を担当。
 [栗原教授] 令和3年4月就任。「音楽史A」「音楽史B」を担当。
 [横田教授] 令和3年4月就任。「日本国憲法I」「日本国憲法II」を担当。
 [藤林教授] 令和3年4月就任。「法学I」を担当。
 [福永教授] 令和3年4月就任。「法学II」を担当。
 [加藤(浩)准教授] 令和3年4月就任。学則改正に伴い、担当科目の分割及び名称変更。旧:「経済学」新:「経済学I」「経済学II」
 [山根教授] 令和2年度教授に昇格。
 [山崎(先)教授] 担当割変更のため、「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ衛生学」を追加。
 [中馬教授] 担当割変更のため、「スポーツ理論I」「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を追加。
 [田原准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」を担当。
 [織木准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」を担当。
 [高野(一)准教授] 担当割変更のため、「スポーツ実習IV」を担当しない。
 [栗山助教] 令和2年4月就任。「中国語初級I」を担当。
 [単助教] 令和4年4月就任予定。「中国語上級」を担当。
 [新谷教授] 担当割変更のため、「中国語初級II」を担当しない。
 [下園助教] 令和2年4月就任。「ラテン語初級I」を担当。
 [押尾講師] 令和3年4月就任。「スペイン語」を担当。

以下、兼任教員

[ウォレン講師] 担当割変更のため、「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」を追加。
 [オキーフ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 [カーター講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語リスニングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」を追加。
 [ケイトン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を担当しない。「英語リスニングスキル」「英語ライティングスキル」を追加。
 [シェリフ講師] 就任辞退のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 [フアンネル講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 [フハラ講師] 就任辞退のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 [ペイトン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語ライティングスキル」「英語リスニングスキル&クリティカルシンキング」「アドヴァンストイナグリッシュA」を追加。
 [ペヴァン講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語ライティングスキル」「英語スピーキングスキル&プレゼンテーション」を追加。
 [マキニス講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 [マクドナルド講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」「翻訳演習」を担当しない。「英語ライティングスキル」を追加。
 [ムラカミ講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語リスニングスキル」を追加。
 [ユニー講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語ライティングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「アドヴァンストイナグリッシュB」を追加。
 [野母講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を追加。
 [山本講師] 担当割変更のため、「フランス語演習基礎(リスニング)」を担当しない。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を追加。
 [辻部講師] 担当割変更のため、「フランス語演習基礎(リーディング)」「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。
 [日野講師] 担当割変更のため、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」を追加。
 [マクドナルド講師] 届出時に重複して記載があったため、ひとつに統合。本項目は使用しない。
 [長講師] 就任辞退のため、「英文法A」「英文法B」を担当しない。
 [中島講師] 担当割変更のため、「英語音声学」を担当しない。
 [クリスチャンズ講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語ライティングスキル」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」を担当。
 [ソーレス講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」「アドヴァンストイナグリッシュA」を担当。
 [パークレー講師] 令和3年4月 外国語学部専任教員として採用された為、上段に移動。本項目は使用しない。
 [ペロウ講師] 令和3年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リスニングスキル」「英語スピーキングスキル&プレゼンテーション」「英語リーディングスキル&クリティカルシンキング」「英語ライティングスキル&プレゼンテーション」「コミュニケーション英語I(統合基礎)」を担当。
 [ハヤシ講師] 令和3年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リスニングスキル」「英語ライティングスキル」を担当。
 [安藤講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(フランス語)」「外国語コミュニケーションB(フランス語)」「フランス語演習基礎(リーディング)」を担当。

[村上講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
 [麻生講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
 [小柳講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
 [平島講師] 担当割変更のため、「ドイツ語中級」を追加。
 [梶原講師] 令和2年4月就任。「地球科学I」「地球科学II」を担当。
 [湯川講師] 令和3年4月就任。「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当。
 [田代講師] 令和4年4月就任予定。「キリスト教人間学(B)」を担当。
 [伊原木講師] 就任辞退のため、「キリスト教人間学A」を担当しない。
 [韓講師] 令和3年4月就任。「哲学A」「哲学B」を担当。
 [伊東講師] 令和2年4月に就任しないため、「日本史学A」を担当しない。
 [八嶋講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」を担当。
 [赤司講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」「日本史学B」を担当。
 [川畑講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
 [松浦講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
 [小黒講師] 令和3年4月就任。「西洋文学A」を担当。
 [林講師] 令和3年4月就任。「西洋文学B」を担当。
 [蛭沼講師] 担当割変更のため、「日本文学A」「日本文学B」を担当しない。
 [竹村講師] 定年のため、「中国文学A」「中国文学B」を担当しない。
 [黄講師] 令和3年4月就任。「中国文学A」「中国文学B」を担当。
 [遠山講師] 令和2年4月に就任しないため、「音楽史A」「音楽史B」を担当しない。
 [有吉講師] 令和2年4月に就任しないため、「心理学I」を担当しない。
 [馬場講師] 令和2年4月就任。「心理学I」を担当。
 [堀口講師] 就任辞退のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
 [城下講師] 就任辞退のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
 [山崎(淳)講師] 就任辞退のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
 [吉岡講師] 就任辞退のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
 [橋本講師] 令和3年4月就任。「日本国憲法I」「日本国憲法II」を担当。
 [秋原講師] 就任辞退のため、「経済学」を担当しない。
 [高野(和)講師] 担当割変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
 [森講師] 担当割変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
 [山下講師] 就任辞退のため、「地理学概論」を担当しない。
 [坂井講師] 定年のため、「地球科学I」「地球科学II」を担当しない。
 [黒田講師] 就任辞退のため、「環境地理I」「環境地理II」を担当しない。
 [町田(真)講師] 令和2年4月に就任しないため、「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当しない。
 [三浦講師] 令和2年4月就任。「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当。
 [池松講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習III」を担当。
 [東講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を担当。
 [原講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
 [黒田講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
 [角南講師] 令和3年4月就任。「スポーツ実習I」を担当。
 [町田(由)講師] 担当割変更のため、「スポーツ実習III」を追加。
 [王(貞)講師] 令和2年4月に就任しないため、「中国語初級I」を担当しない。
 [大藪講師] 担当割変更のため、「中国語初級I」を担当しない。
 [陳講師] 担当割変更のため、「中国語初級II」を担当しない。「東洋史学A」「東洋史学B」を追加。
 [王(農)講師] 令和2年4月就任。「中国語初級II」を担当。
 [王(宇)講師] 担当割変更のため、「中国語上級」を担当しない。
 [白岩講師] 担当割変更のため、「韓国語初級I」「韓国語初級II」を担当しない。
 [李(廷)講師] 担当割変更のため、「韓国語初級I」「韓国語初級II」を担当しない。
 [黄講師] 令和3年4月就任。「韓国語初級I」を担当。
 [小野講師] 令和3年4月就任。「韓国語初級I」「韓国語初級II」を担当。
 [田中(美)講師] 令和3年4月就任。「韓国語初級I」を担当。
 [李(鍾)講師] 令和3年4月就任。「韓国語初級I」を担当。
 [金(英)講師] 担当割変更のため、「韓国語初級II」を追加。
 [崔講師] 令和3年4月就任。「韓国語中級」を担当。
 [福盛講師] 「日本語I」「日本語III」は隔年開講であり、今年度は開講しないため担当しない。
 [佐藤(友)講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級A」「イタリア語初級B」を担当。
 [井手講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級A」「イタリア語初級B」を担当。
 [富松講師] 令和2年4月就任。「タイ語A」「タイ語B」を担当。

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
22	7	1		30		25	5	1	0	31	0
(22)	(7)	(1)		(30)							
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
25	5	1	0	31	0	25	5	1	0	31	0
[3]	[Δ2]	[0]	[0]	[1]	[0]	[3]	[Δ2]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{30} = \boxed{103.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)							後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	鳥越 千絵	R3.3	必修	基礎演習	①	令和3年3月31日付 自己都合のため辞任 (3)			
				必修	導入演習	①				
				選択	英語ライティングスキル	①				
				選択	英語IC「プレゼンテーション」	①				
				選択	英語カンパニイ 読解と対話的ディスカッション	①				
				選択	コミュニケーション英語II (総合基礎)	①				
				選択	コミュニケーション英語II (総合応用)	①				
				選択	アドヴァンストスピーキング	③				
				選択	Communication Studies B	①				
				選択	Global Communication Seminar B	③				
				必修	演習I	③				
				選択	演習II	③				
選択	卒業論文	③								
合計 (F)							後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{30} = 3.33 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定であった科目全てに後任を準備できた為、支障なし。 担当教員の交代については、学生便覧や時間割表にて学生へ周知した。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認可時 (令和元年)	該当なし	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし	履行済	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 外国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>10 設置の趣旨等を記載した書類</p> <p>⑩ 実習の具体的計画【海外語学実習】</p> <p>1 海外語学実習先の確保の状況</p> <p>本学部生は1年次後期からの約半年間、英語またはフランス語が事実上の公用語として話される国、地域に留学する。</p> <p>(英語による留学プログラム) 外国語学部の学生は、米国の大学付設語学教育機関に留学することができる。留学先では、英語力向上を目指した集中的な学修を行う。留学予定先は資料8の通りである。留学先で展開される英語教育は、週25時間の授業内学修が担保される集中的なものとなっているだけでなく、クラスが学生の英語習熟度に応じた12段階のレベルに分けられており、学生は自身の語学力に合った教育内容でリスニング、スピーキング、読解、語彙、文法、発音を含めた英語の主要スキルすべてを向上させることが可能である。留学修了時の到達目標としては、CEFR B2レベルを設定している。また、留学先においては本学部開講科目の「導入演習」に相当する科目として、本学部生向けプログラムが実施されアカデミックスキルの定着が計られる。</p> <p>(フランス語による留学プログラム) フランス語による留学プログラムでは、学生は本学と国際交流協定を締結しているフランスの大学付設語学学校に約4か月間留学することができる。留学予定先の名称等は資料8の通りである。留学先で展開されるフランス語教育は、週23時間の授業内学修時間が担保されているだけでなく、学生は現地到着後に受験するレベル分けテストの結果に応じて自身の語学力にあった教育内容でリスニング、スピーキング、読解、語彙、文法、発音を含めたフランス語の主要スキルすべてを向上させることが可能である。また、担当講師による学習指導などきめ細やかな学修支援体制が構築されている。留学修了時の到達目標としては、CEFR A2レベルを設定している。また、留学先においては本学部開講科目の「導入演習」に相当するものとして、本学部生向けプログラムが実施されアカデミックスキルの定着が計られる。</p> <p>2 実習先との連携関係</p> <p>(英語による留学プログラム) 本プログラムを実施する大学付設語学教育機関との連携については、本学部と現地担当者として緊密な連携体制を構築し渡航の支援、学習管理、留学中の生活支援を実施する。留学先からは、4週間ごとに学生の出席状況、学習状況、成績等が含まれたレポートが提供されることとなっている。また、学生の出席状況や生活状況になんらかの問題があった場合、留学先から本学部に報告が届くようになっており問題の発生防止や早期対応のための体制が整えられている。加えて、フリーダイヤルによる24時間日本語サポートが受けられるようになる。</p> <p>(フランス語による留学プログラム) 本プログラムを実施する大学付設語学教育機関との連携については、本学部と現地担当者として緊密な連携体制を構築し渡航の支援、学習管理、留学中の生活支援を実施する。留学先からは4週間ごとに学生の成績及び出席状況などに関する担当教員からのコメントが記載されたレポートが提供されることとなっている。また、学生の出席状況や生活状況になんらかの問題があった場合、留学先から本学部に報告が届くようになっており問題の発生防止や早期対応のための体制が整えられている。加えて、フリーダイヤルによる24時間日本語サポートが受けられるようになる。</p> <p>3 成績評価体制及び単位認定方法</p> <p>成績に関しては、英語とフランス語どちらの留学プログラムにおいても、留学先から送付される出席及び学修状況が記載されたレポートと各科目の最終成績が記されている成績証明書の内容を基に、外国語学部で開講されるスキル科目を中心に最大で16単位を修得することができる。単位の認定は現地で学習状況と先述の成績証明証の内容をもとに外国語学部教授会において審議する。</p>	<p>1 海外語学実習先の確保の状況</p> <p>(英語による留学プログラム) 本プログラムの留学先として、米国の大学付設語学教育機関に加え、本学と国際交流協定を締結している大学(以下、協定校)の付属語学学校4校を加え、留学先の選択肢を広げた。協定校の付属語学学校における教育内容も、時間数や実施内容において同等であることを確認している。 2020(令和2)年4月に本プログラムの参加者を募集したところ、19人が応募したが、2020(令和2)年当初からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外務省海外安全情報に基づき、留学期間中の参加学生の安全を最優先として、プログラムを中止した。その代替措置として、オンライン留学プログラム(Virtual International Collaborative Studies(VICS)Program)を外国語学部1年生及びおよび海外派遣留学プログラムへの参加が叶わなかった文学部の学生を対象に実施した。 プログラムでは、本学学生と国際交流協定校の交換留学生が少人数のグループを形成し、PBL(Problem Based Learning 問題解決型学習)形式、オンラインツールを用いながら、SDGsが掲げる問題などを取り上げたグループ活動を実施した。最終回では、話し合った内容についてグループ毎の発表を行った。 2021(令和3)年度は、4月の募集開始時点で米国の大学付設語学教育機関が新型コロナウイルスの影響ですべて閉鎖されていたため、協定校の付属語学学校4校で募集を行い、11人の応募があった。今後、6月を目途に実施判断を行う予定である。</p> <p>(フランス語による留学プログラム) 2020(令和2)年4月に本プログラムの参加者を募集したところ、10人が応募したが、2020(令和2)年当初からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外務省海外安全情報に基づき、留学期間中の参加学生の安全を最優先として、プログラムを中止した。その代替措置として、アンスティチュ・フランセ九州と協働して春季短期国内フランス語研修Immersionを、外国語学部1年生及び文学部外国語学科フランス語専攻の学生を対象に実施した。プログラムは8日間(計48時間)で、十分な感染症対策のもと対面で実施し、外国語学部の学生13名と文学部の学生7名の計20名が参加した。 2021(令和3)年度も同様に募集を行い、5月1日時点で募集中の状況であり、今後、6月を目途に実施判断を行う予定である。</p> <p>2 実習先との連携関係</p> <p>(英語による留学プログラム) 2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、プログラムを中止したため、留学先との連携体制の構築には至らなかった。 2021(令和3)年度は、留学予定先がすべて本学の協定校の付属語学学校であるため、本学部と本学国際センター、現地担当者において、これまでに構築された連携体制をさらに強化する予定である。</p> <p>(フランス語による留学プログラム) 2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、プログラムを中止したため、留学先との連携を図る機会がなかった。 2021(令和3)年度は、留学先大学が本学の協定校であることから、既に連携体制を構築しており、本プログラムが実現した場合には、本学部と本学国際センター、現地担当者において、連携体制をさらに強化する予定である。</p> <p>3 成績評価体制及び単位認定方法</p> <p>2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、プログラムを中止した。 2021(令和3)年度にプログラムを実施した場合は、左記の体制、手続で審議することとする。</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

【関係規程等】

【部長会議内各種委員会に関する内規】* 該当箇所抜粋

部長会議は、大学規程第50条第1項に定める部長会議の処理事項の円滑な処理をはかるため、次のような常設または臨時の委員会を置くことができる。

常設の委員会は、広報委員会、総合計画委員会、全学FD推進委員会、国際化推進委員会とする。

臨時の委員会は、学長または部長会議が必要と認めた場合設けるものとし、特定の施設に関する委員会及びその他の事項に関する委員会をいう。各委員会の目的、構成、委員長、任期、担当部署等については、次のとおりとする。

1. 常設の委員会

全学FD推進委員会

(イ) 目的

授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)を推進することを目的とする。

(ロ) 役割

- FDの推進方策を検討し、決定した方策を部長会議に上程する。
- 各学部に置くFD委員会から報告された特色あるFD活動について、全学に紹介し推進する。

(ハ) 構成

- 教務部長
- 学部長
- 教育支援部事務部長
- 教務課長

ただし、議長は必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(ニ) 委員長は、教務部長とする。

(ホ) 任期は、役職任期中とする。ただし、部長会議が構成員交代の必要を認めたときは、この限りでない。

(ヘ) 担当部署は、教務課とする。

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部に係る審議は外国語学部教授会でやっている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

2020(令和2)年度は、5月22日、5月27日、6月23日、7月28日、10月13日、11月17日、3月9日の計7回開催した。2021(令和3)年度についても年度内に7~8回程度開催する予定である。

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部FD委員会は、外国語教授会終了後に開催することとしている。

毎年度15回程度実施することとしている。

c 委員会の審議事項等

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

全学FD推進委員会は、以下の事項について審議・検討する。

・FDの実施に係る企画・立案(授業評価アンケートの実施、特色ある学部教育実施経費)

【2020(令和2)年度の主な審議事項】

- ・授業評価アンケートの実施と結果の活用について
- ・特色ある学部教育実施経費の活用について
- ・本学におけるGPA活用について
- ・教学マネジメント指針に関する事項について

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部FD委員会は、以下の事項について審議・検討する。

○学部におけるFDに係る企画・立案及び実施

○学部における学士課程教育の充実を図ることを目的とした方策の検討及び実施

○学部独自の留学プログラムについての検討

外国語学部FD委員会は、初年次教育検討委員会と外国語コミュニケーション検討委員会を置き、以下の事項について審議・検討する。

○初年次教育、特に基礎演習と導入演習についての検討(初年次教育検討委員会)

○外国語コミュニケーションおよび二年次以上のスキル系科目の到達目標の検討および設定(外国語コミュニケーション検討委員会)

② 実施状況

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

a 実施内容

- ・委員会の開催
- ・授業評価アンケートの実施(全学での取組み)
- ・授業公開・参観(全学での取組み)
- ・授業評価アンケート結果の活用検討

b 実施方法

・授業評価アンケート(全学での取組み)

全教員(非常勤講師含む)の全授業科目を対象(ただし、実験・実習・実技科目、演習科目、受講登録者数が10名以下の科目、集中講義は除く)として、毎年度、通年科目及び前期完結科目については7月、後期完結科目については、12月から1月にかけて実施している。外国語学部外国語学科においては、2020(令和2)年度から実施する。また、2020(令和2)年度より従来の紙に替えてWEB方式にて実施した。

・授業公開・参観(全学での取組み)

授業公開については、各教員の任意(アンケートによる事前意思確認を実施)での公開とし、年度を通じて該当教員の希望日等を考慮し、実施している。授業参観については、教員及び学生の任意参加とし、出席カード等により参加人数を把握している。

・授業評価アンケートの改善検討

例年、全学FD推進委員会の下に設置する「授業評価検討委員会」(教務部長を委員長とし、各学部のFD委員(教員)及び学部長より推薦された学生代表で構成)にて授業評価アンケートの改善検討を行っているが、2020(令和2)年度においては、コロナ禍により、授業評価検討委員会を開催することができなかった。

c 開催状況(教員の参加状況を含む)

・委員会開催

2020(令和2)年度は、メール稟議も含め、5月22日、5月27日、6月23日、7月28日、10月13日、11月17日、3月9日の計7回開催した。(構成員は、ほぼ全員出席)
2021(令和3)年度は、年度内に7~8回程度開催する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生による授業評価アンケート(全学での取組み)

授業評価結果を各教員へフィードバックし、授業改善に取り組んでいる。さらに、授業評価結果に対する授業担当者のコメントを学生に対して公開しフィードバックできる仕組みを整えている。外国語学部外国語学科においても、2020(令和2)年度より同様の取組みを実施した。

・授業公開・参観(全学での取組み)

例年、参観者の意見等を全学FD推進委員会にて共有し、今後の授業改善に向けた検討を行っているが、2020(令和2)年度においては、コロナ禍により実施することができなかった。

(2)外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

a 実施内容

- 外国語学部教授会の開催
- 統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有
- 初年次教育検討委員会による基礎演習の精査
- 外国語コミュニケーション検討委員会による外国語コミュニケーションおよび二次以上のスキル系科目の到達目標の妥当性の評価と検証
- GCS科目履修の語学要件の設定
- 演習Iと演習IIの履修方法の検討

b 実施方法

- 統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有
科目責任者を中心として、担当教員は、授業の問題点、工夫点について記録し、担当者全員にMoodle による情報を共有する。これらの記録を参考として、教科書の利用の仕方、授業展開、評価の方針、運営方法についての確認をしながら改善に結び付ける。
- 初年次教育検討委員会による基礎演習の精査
担当教員は、基礎演習の授業毎に問題点、工夫点について記録し、担当者全員にMoodle による情報を提供する。初年次教育検討委員会もこれらの記録を参考として、基礎演習の方針、運営方法について確認、検討を行い改善に結び付ける。
- 外国語コミュニケーション検討委員会による外国語コミュニケーションおよび二次以上のスキル系科目の到達目標の妥当性の評価と検証
受講者にアンケートを実施し、その結果について各担当者や情報を共有し、到達目標設定の妥当性を検証する。
- GCS科目履修の語学要件の設定
科目群責任者と担当者が適切なクラス数設定と語学要件について協議した原案を外国語学部教授会で審議する。
- 演習Iと演習IIの履修方法の検討
体系性を確保しつつ横断的な学びが可能になるような履修方法を検討する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

○外国語学部教授会の開催

2020(令和2)年6月3日、7月1日、7月29日、9月7日、9月23日、10月7日、10月28日、11月18日、11月25日、12月9日、12月16日
2021(令和3)年1月13日、3月1日、3月24日の14回実施している。

○統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有

上記実施方法の通り実施している。

○初年次教育検討委員会による基礎演習の精査

上記実施方法の通り実施している。

○外国語コミュニケーション検討委員会による外国語コミュニケーションおよび二次以上のスキル系科目の到達目標の妥当性の評価と検証

上記実施方法の通り実施している。

○GCS科目履修の語学要件の設定

上記実施方法の通り実施している。

○演習Iと演習IIの履修方法の検討

上記実施方法の通り実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有

初年次教育検討委員会が担当者の意見を集約した上で検討した結果、統一シラバスの主な項目は変更しないが、用いる教材の選択など一部の運用については担当者の裁量に任せることになった。

○初年次教育検討委員会による基礎演習の精査

基礎演習の授業終了後に担当者全員を対象にWeb会議を開催し、問題点や今後の改善点について話し合った。

その結果、学生に進める共通の参考文献一覧を作成した。

○外国語コミュニケーション検討委員会による外国語コミュニケーションおよび二年次以上のスキル系科目の到達目標の妥当性の評価と検証アンケート結果に基づき、より適切な共通テキストを採用する際の参考にした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全教員(非常勤講師含む)の全授業科目を対象(ただし、実験・実習・実技科目、演習科目、受講登録者数が10名以下の科目、集中講義は除く)として、毎年度、通年科目及び前期完結科目については7月、後期完結科目については、12月から1月にかけて実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員は、当該科目を受講する学生に対して授業評価結果に対するコメントを付して学内者向けポータルサイトにて公開することを原則としている。ただし、コメントの付記並びに公開の可否判断は、各教員に委ねている。
- ・各年度のアンケート実施報告を学内者向けのWEB上で公開している。
- ・アンケート実施にあたり、匿名性の厳守の観点から、学生の氏名等は無記名としている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学生確保の状況について、外国語学部の入学生定員300人に対して2020(令和2)年度入試では276人、2021(令和3)年度入試では302人の入学者であった。2年続けて安定した入学者数を確保することができており、このことから本学外国語学部の設置の趣旨等は受験生等に広く理解を得られているものと捉えている。

一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い学部独自の海外留学プログラムは中止を余儀なくされることとなった。当該留学プログラムは、任意参加型ではあるものの外国語学部の特徴ある教育の一つとして学生募集の時点で広く周知しており、高等学校や受験生等からの期待の声も大きかった。その経緯を踏まえ、当該留学プログラムの代替としてWEB会議システムを活用し、英語とフランス語によるオンライン留学プログラムを実施し、教育の質の維持を図った。概要は以下の通り。

(英語によるオンライン留学プログラム)

【プログラム名】オンライン留学プログラム Virtual International Collaborative Studies(VICS)Program

【実施期間】2020(令和2)年12月～2021(令和3)年2月(全8回)

【使用言語】英語

【参加者数】本学学生28名 / 海外学生41名

※外国語学部1年生および文学部の学生で2020-2021年度に海外派遣留学を予定していた学生を対象に募集

【内容】本学学生と、本学の国際交流協定校の交換留学生(別科留学生として来日予定の学生を含む)で少人数のグループを形成し、SDGsをテーマとしたPBL(Problem Based Learning 問題解決型学習)形式でのグループ活動を「オンライン」で行う。最終回では、議論した内容に関してグループ毎に英語でプレゼンテーションする。

(フランス語によるオンライン留学プログラム)

【プログラム名】春季短期国内フランス語研修Immersion

【実施期間】2021(令和3)年2月(全8回、計48時間)

【使用言語】フランス語

【参加者数】20名

※本学外国語学部の学生、文学部フランス語専攻の学生を対象に募集

【内容】

フランス政府公式の語学学校・文化センターであるアンスティチュ・フランセ九州と協働し、本学学生らを対象とした短期集中型のフランス語研修を実施した。本研修では会話、読解・文章作成、フランス文化学習を各16時間にわたって学習し、フランスとフランス語に対しての理解と知識を向上させることを目的とした。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・2022(令和4)年3月末 公表(予定)

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(2022(令和4)年3月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・2024(令和6)年に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。